

つくば・常総地区メディカルコントロール協議会主催

NPO 法人周産期医療支援機構共催

BLSO/ALSO Provider Course in Tsukuba

～産科救急は、病院前から集中治療室までの「コラボ」医療の原点！！

地域MC救命士・ER/ICUチーム・周産期/新生児チームのコラボレーション～

産科救急における問題点がメディアにとりあげられる近年、病院前たらい回しや重症管理の難易度の高さ等、産科や新生児科だけでは対応困難なケースも見受けられます。産科や新生児科だけではなく、地域の救命士、救急集中治療の医師看護師、麻酔科や手術室看護師まで含めて全力を注がなければ、特に母体救命を行うことはできません。また近年の救急医は小児救急も対応できるようになってきましたが、未だに産科救急・妊婦や産褥期の内科救急は苦手としています。救急医療従事者の産科救急に対するレベルアップも重要です。そのために共通言語で話すことができ、顔が見える関係を築くことが必要不可欠です。

つくば市は国内最大の研究学園都市として、産業と学問、環境と生活の連携をテーマとしています。産科救急も地域MC救命士、ER/ICUチーム、周産期/新生児チームのコラボレーションなければ成し遂げられません！

茨城県つくば・常総地区では、メディカルコントロール協議会主催で各種研修を行っています。今回、周産期救急に携わる関係者に対して、以下の標準化コースを開催いたします。救命士や救急や周産期の皆様方と意見交換ができる顔が見える関係を作ってみませんか？皆様方の多数の御参加お待ちしております。

●BLSO プロバイダーコース

対象：救急救命士、看護師、救急医、家庭医など

BLSO (Basic Life Support in Obstetrics) は、病院外・病院前での妊産婦救急を想定した、産科に関する基礎的なトレーニングプログラムです。日本では734件/年の施設外分娩事例を救急隊が収容しています(2010年全国消防本部アンケート調査)。また、外傷や内科疾患でERに搬送される妊婦は珍しくなく、大規模災害では専門科問わず妊産婦救急に対応する必要があります。本コースでは、妊婦の評価方法、車中などでの分娩介助、新生児蘇生、妊婦蘇生などを1日かけて講義と実習で学びます。日頃は産科医療に関与してないが、車中分娩や妊産婦救急に遭遇することがある、救急救命士、救急の看護師・医師、家庭医などを対象としたプログラムです。

日時：2018年7月21日(土) or 7月22日(日) 両日共 8:30～18:00 予定(1日間コース)

定員：各日18名

費用：18,000円

●ALSO プロバイダーコース

対象：研修医、産科医、救急/集中治療医、助産師、麻酔科医など

ALSO (Advanced Life Support in Obstetrics) は、病院内での妊産婦救急を想定した、産科に関する実践的なトレーニングプログラムです。日本では1年間に4000~5000名の周産期死亡と40~50名の妊産婦死亡がおきており、地域や施設を問わず標準的で質の高い産科医療を提供することが重要になっています。ALSO プロバイダーコースでは、補助経膈分娩、肩甲難産、胎位胎向異常分娩、胎児心拍モニター、妊婦蘇生などを2日かけて講義と実習で学びます。産婦人科を志望する初期・後期研修医・医学生、異常妊産婦の全身管理を行うことが多い救急医、集中治療医、麻酔科医、産婦人科医、助産師などを対象としたプログラムです。

日時：2018年7月21日(土) 8:30~18:00 予定
22日(日) 8:30~17:00 予定(2日間コース)

定員：30名

費用：40,000円

●申し込み方法

以下のURLの受講生募集フォームから応募ください。

<https://my.formman.com/form/pc/tCcuJCDPTRwxJk9i/>

※注釈を読みながら入力して下さい！携帯メアドでは登録不可！

募集期間：2018年4月20日24時まで

※申し込み順での受講決定ではありません。

申込者多数の場合は、つくば常総地区MC主催のため、つくば常総地区、茨城県内に勤務される方が優先となります。

他にも職種や地域性を加味して受講決定させていただきますので、御了承ください。

※当日の昼食はございません。各自で御準備お願いいたします。

●場所：筑波大学医学群棟(受講決定者には後程詳細をお送りいたします)

●問い合わせ先 筑波大学附属病院 救急集中治療科 小山泰明

電話：029-853-3900(内線90300)